

弊社のMMLへの取り組みについて

◆2015年度以前

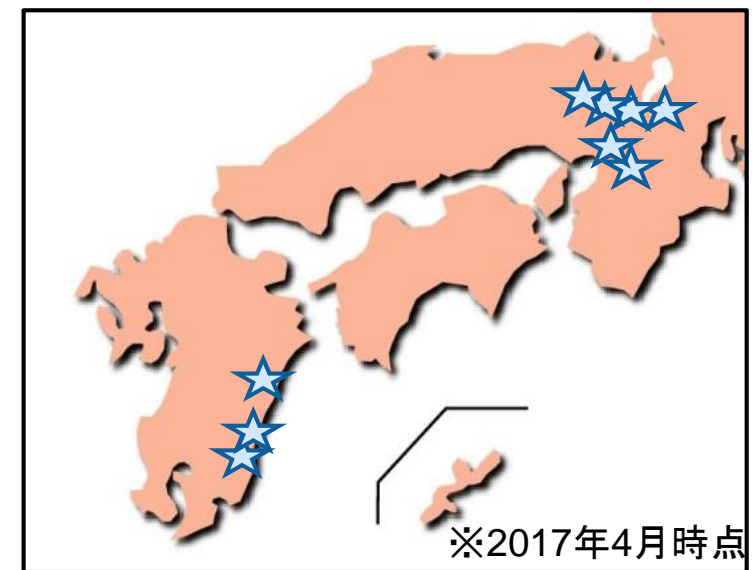
京都府下で行われている地域医療連携基盤サービス(まいこネット)に対して
弊社電子カルテシステムから**MML3.1**形式でデータ出力対応を実施

◆2015年度

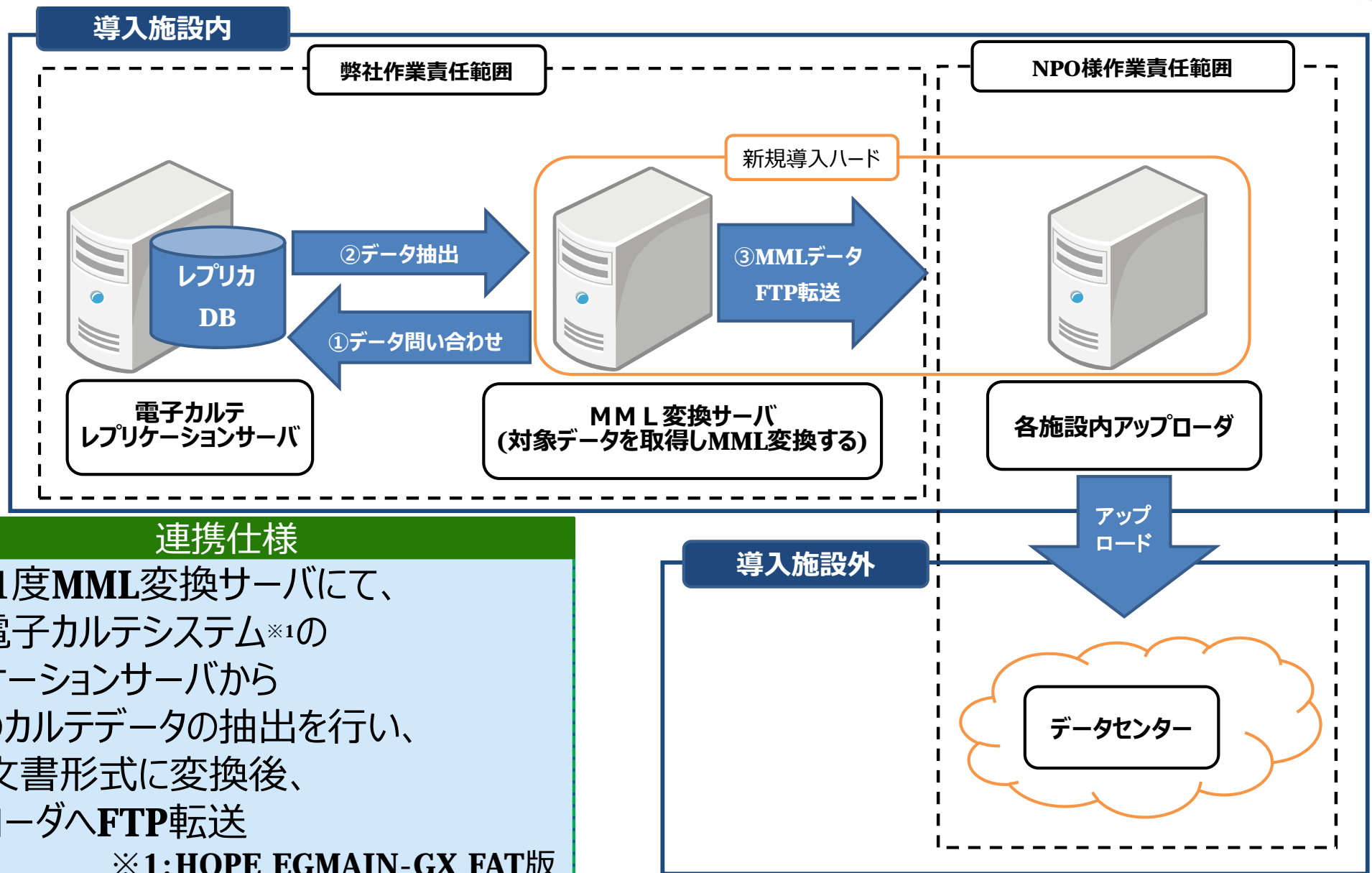
- ・日本医療ネットワーク協会様よりお声掛けいただき、千年カルテプロジェクトへ参画
- ・まいこネットの対応事例を元に、**MML4.0**へ対応を含めた新規開発を実施
- ・九州地区3施設、関西地区3施設への導入を実施

◆2016年度

- ・昨年度開発した資源をベースに**MML4.1.2**へ対応を実施
- ・関西地区3施設へ新規導入を実施



弊社のMML連携の仕組み(連携概要)



連携仕様

1日に1度MML変換サーバにて、弊社電子カルテシステム※1のレプリケーションサーバから対象のカルテデータの抽出を行い、MML文書形式に変換後、アップローダへFTP転送

※1:HOPE EGMAIN-GX FAT版